日本協会だより

オリンピック・ソリダリティーの実施について

かねてＩＯＣよりアジア地域での開催の依頼を受けていたオリンピック・ソリダリティーの開催を日本体育協会の推せんにより日本ハンドボール協会が下記のごとく実施することになりました。

記

1．目的

外国から講師を招聘し、我が国のトップレベルにいる指導者を対象にして資質の向上を図ることを目的とする。

2．講義の内容

体力、技術、戦術についての理論を実践指導。

3．講師

・ＩＯＣから派遣される指導者

JAROSLAV MARZ 氏（チェコスロバキア）

・国内よりの指導者

水上　一氏（筑波大）

4．期日

1989年５月29日～６月４日（７日間）

午前9：00～12：00　　午後13：00～16：00

5．講習の場所

①代々木青少年スポーツセンター

②JUKI 体育館

6．受講対象者

トップレベルの指導者約20名

「世界スポーツ・コーチ・サミットⅢ」実技指導についての見学会の開催

この度、外務省主催による「世界スポーツ・コーチ・サミットⅢ」が来る３月23日・24日の両日、ホテル・オークラにおいて開催されます。

このサミットのセッションⅢで「チームづくり」がテーマとしてとり上げられ、ソウル・オリンピックで金メダルをとった韓国女子ハンドボールチームの監督であった高丙勲氏が講師として招聘されることになりました。

日本協会では、この機会に氏の実技指導法を見学して今後の参考にしていただきたいと考え、下記のようにご案内致します。

記

［日時］　1989年３月23日午後２時～４時

［場所］　JUKI 体育館

東京都調布市国領町８－２－１

TEL 03-480-1111

（京王線国領駅下車徒歩８分）

［講師］　高　丙勲氏

〈男子〉

学校	都道府県	1回戦	2回戦	3回戦	準々決勝	準決勝	決勝
久留米工大付属	福岡		Aロ	Aい	Aか	B	
市川	千葉	A 2	Aロ	Aい	Aか	B	
市立岐阜商業	岐阜	A 2	Aロ	Aい	Aか	B	
桂	京都	B 2	Bロ	Aい	Aか	B	
下松工業	山口	B 2	Bロ	Aい	Aか	B	
高松商業	香川	A 4	Bロ	Aい	Aか	B	
明星	東京	A 4	Bロ	Aい	Aか	B	
明石北	兵庫		Aニ	Bい	Aか	B	
聖光学院	福島	B 4	Aニ	Bい	Aか	B	
函大付有斗	南・北海道	B 4	Aニ	Bい	Aか	B	
高岡向陵	富山	A 6	Bニ	Bい	Aか	B	
岡崎城西	愛知	A 6	Bニ	Bい	Aか	B	
浦和学院	埼玉		Bニ	Bい	Aか	B	
熊本市商	熊本		Aへ	Aえ	Bか	B	
釧路湖陵	北・北海道	B 6	Aへ	Aえ	Bか	B	
小松明峰	石川	B 6	Aへ	Aえ	Bか	B	
正強	奈良	A 8	Bへ	Aえ	Bか	B	
清水市商	静岡	A 8	Bへ	Aえ	Bか	B	
吉井	群馬		Bへ	Aえ	Bか	B	
長崎日大	長崎	B 8	Aチ	Bえ	Bか	B	
総社	岡山	B 8	Aチ	Bえ	Bか	B	
中京	愛知	A10	Aチ	Bえ	Bか	B	
仙台育英	宮城	A10	Aチ	Bえ	Bか	B	
上宮	大阪	B10	Bチ	Bえ	Bか	B	
松山北	愛媛	B10	Bチ	Bえ	Bか	B	
横浜商工	神奈川		Bチ	Bえ	Bか	B	

第12回全国高校選抜大会組合せ

〈女子〉

第20回全日本実業団トーナメント大会

（2月10日～12日 大阪府立体育会館ほか）

本田技研爽風会が4年ぶり2度目の優勝

1回戦

三景 26 （13－2 13－9） 11 興亜石油

〔戦評〕前半、両チームともミスが多く出たが、攻守ともに勝る三景が小金山、木原の活躍で得点を重ねた。
後半、興亜も速攻で得点をあげたが、地力に勝る三景がリードを守って逃げ切った。

〔興亜〕	得		〔三景〕	得
松本	0	GK	北川	0
		GK	長橋	0
藤田	4	FP	近藤	0
長野	1	FP	福永	4
松本	3	FP	福士	6
高林	0	FP	西川	7
松本	2	FP	斉藤	4
中村	0	FP	大谷	1
重田	1	FP	小金山	3
伊藤	0	FP	木原	1
大山	0	FP		
11	(0)	PT	(1)	26

（審・北山 大原）

アイシン精機 不戦勝 自衛隊勝田

新日鉄大分 25 （13－12 12－10） 22 日本耐酸壜

〔戦評〕お互によく似たチームカラーで、立ち上がりからスピーディな攻防を展開、シーソーゲームをくり広げるが、13―12と新日鉄の1点リードで前半を終了。
後半も速攻を中心とした攻撃をくり返し、どちらも3点までリードはするが、そこから得点がのびない。耐酸壜もGKの好守で反撃を試みるが、ディフェンスが荒く攻撃にうまくつながらず、新日鉄が逃げ切った。

〔耐酸壜〕	得		〔大分〕	得
岩田	0	GK	賎満	0
足立	0	GK		
木村	6	FP	安部	0
古田	2	FP	牧	2
玉田	1	FP	房前	1
小林	2	FP	麻生	3
青山	0	FP	南	9
西脇	0	FP	河野	10
吉安	0	FP	伊藤	0
五島	6	FP		
小川	0	FP		
野村	5	FP		
22	(0)	PT	(2)	25

（審・小山 佐路）

日鉄建材 34 （19－8 15－6） 14 三井石化

〔戦評〕立ち上がり10分間は両チームともに互角の攻防であったが15分過ぎから三井にミスが目立ち始め、逆速攻などで日鉄建材が加点。後半も日鉄建材は上山、山口のロングや速攻で着実に加点し、一方的な試合展開となった。

〔三井〕	得		〔日鐵〕	得
佐藤	0	GK	川上	0
田中	2	FP	霜村	1
坂本	1	FP	杉本	7
森重	4	FP	山口	7
岡村	0	FP	池辺	2
相田	4	FP	上山	3
貴船	2	FP	外山	3
三村	1	FP	清原	2
		FP	若本	7
		FP	玉嶋	2
14	(2)	PT	(3)	34

（審・西村 奥田）

セントラル自動車 35 （15－7 20－5） 12 北陸電力

〔戦評〕前半、先制したのは北陸電力だったが、その後セントラルのディフェンスを攻めあぐみ、逆に連続得点を許して10分間過ぎには9―2と大きく差をつけられた。その後もセントラルは全員がムラなく得点をあげ、差を広げる一方で、結局35―12という大差をつけて勝ち進んだ。

〔北陸〕	得		〔セント〕	得
熊本	0	GK	佐藤	0
竹内	0	GK	寿田	0
天坂	0	FP	笠場	6
近葉	2	FP	瀬戸	4
稲木	2	FP	尾形	2
田中	5	FP	海老原	5
三田	1	FP	守谷	7
稲崎	1	FP	貫船	3
川上	1	FP	中村	2
前田	0	FP	千葉	4
		FP	佐藤	1
		FP	阿部	1
12	(2)	PT	(2)	35

（審・九谷 阪本）

JUKI 28 （12－9 16－8） 17 住友金属和歌山

〔戦評〕前半のすべり出し、住金が樽崎、西岡の連続ゴールで先制。JUKIも塩野の活躍で互角の展開。20分過ぎに河野らの3連取で逆転したJUKIが1歩リード。
後半に入り、西岡に集中して守りを固めたJUKIが一気にスパート、勝利へ結びつけた。

〔住金〕	得		〔JUKI〕	得
相坂	0	GK	長谷川	0
樽崎	2	FP	福地	0
山崎	0	FP	北村	1
河野	3	FP	塩野	7
岡	2	FP	河野	2
西岡	10	FP	沢井	1
大里	0	FP	吉田	3
吉田	0	FP	鷹野	6
岡田	0	FP	海老原	5
		FP	長澤	0
		FP	永松	3
17	(0)	PT	(2)	28

（審・位田 林田）

コスモ石油 26 （11－13 15－10） 23 新日鉄名古屋

〔戦評〕両チームともによく走り、前半残り10分までは新日鉄が5点リードし楽な展開かと思えたが、コスモ石油もカットインプレーなどで追い上げ2点差で終了。
後半10分、コスモ石油がロングシュート、速攻などで同点に追いつく。12分には新日鉄のシュートミス・キャッチミスなどで逆に2点をリード。その後も雑になった新日鉄の攻撃に助けられて逃げ切った。

〔名古屋〕	得		〔コスモ〕	得
岩上	0	GK	谷口	0
浜田	0	GK		
平野	0	FP	善岡	7
土屋	7	FP	北畑	9
清水	1	FP	高橋	0
蟹江	0	FP	川端	9
大島	5	FP	八木	1
堀喜	4	FP	大崎	0
渡辺	2	FP	昆野	0
竹上	4	FP	松本	0
伊藤	0	FP		
23	(2)	PT	(2)	26

（審・家永 奥田）

本田技研爽風会 30 （15－4 15－7） 11 山陽国策パルプ

〔戦評〕どちらも前半の出だしはミスが多く、ペースがつかめなかったが、10分過ぎより爽風会がペースをつかみ、よく走って得点を

重ねた。山陽は攻め手がなく、苦しまぎれのロングも打たされ、得点にはつながらなかった。

〔山陽〕	得		得	〔本田〕
見上	0	GK	0	三宅
			0	高木
松本	1	FP	4	平山
柏本	2		5	香西
世見	0		8	関根
上村	6		2	平松
原田	0		5	山下
伊藤	0		1	松下
末岡	0		1	金沢
小原	0		3	弥吉
高橋	2		1	東
織田	0			
		〔審・兼田、吉田〕		
(0)	11	PT	30	(2)

中村荷役35（16―5、19―7）12三和銀行

〔戦評〕前半立ち上がり、両者ともミスの多い戦いとなったが、攻撃力に勝る中村荷役が、サイドシュート、速攻と多彩な攻撃を見せ、前半を16―5とリード。

後半に入っても中村荷役のGKの好守などで流れは変わらず、35―12で終了した。

〔三和〕	得		得	〔中村〕
岩永	0	GK	0	石井
			0	飯塚
山崎	0	FP	1	三尾
田中	1		1	塚田
大和	0		10	中村
加藤	2		2	大木
吉川	0		5	下戸成
木村	1		1	松本
川本	7		7	堀戸
松永	1		7	池田
丸山	0		0	飯田
			1	坂口
		〔審・西村、奥田〕		
(1)	12	PT	35	(4)

出光千葉30（16―10、14―9）19神戸製鋼

〔戦評〕前半、出光千葉GK池永の好守もあり、速攻、サイドシュートと確実に得点を重ねて、16―10と6点をリード。

後半に入っても流れは変わらず、前半の得点差が勝敗を決定した。

〔神戸〕	得		得	〔出光〕
中尾	0	GK	0	池永
宮永	0			
江口	4	FP	0	久村
渡辺	0		0	保原
藤谷	3		3	赤羽
石崎	1		2	重永
河内	4		4	小浦
山崎	2		7	永石
由利	4		6	清村
新家	1		0	後藤
佐伯	0		5	鶴岡
			3	大木
		〔審・能波、武田〕		
(1)	19	PT	30	(2)

大阪ガス39（18―5、21―10）15日本原子力

〔戦評〕前半立ち上がり動きの悪かった原子力に対して大阪ガスは一方的に攻めまくった。一方原子力は、藤本のシュートが決まってから徐々に力を発揮したが、地力に勝る大阪ガスが余裕をもって逃げ切った。

〔原研〕	得		得	〔ガス〕
広瀬	0	GK	0	福田
			0	森
志賀	1	FP	1	奥野
大友	2		6	加地
川上	2		3	竹志
藤本	2		6	中村
安達	0		5	長田
坪井	6		6	水谷
宮本	2		2	田坂
栗林	0		10	藤田
		〔審・岩橋、大和田〕		
(1)	15	PT	39	(3)

日本電装25（20―9、5―11）20徳山曹達

〔戦評〕スピードに勝る日本電装が速攻からよくつなぎ着々と加点、ディフェンスもよく守り、単調な攻撃をくり返す徳山曹達はミスも多く、前半で日本電装が20―9と大きくリード。

後半に入り、雑な展開となった日本電装に対し、全員でよく攻めた徳山曹達が追い上げたが、前半の失点が大きく及ばなかった。

〔徳山〕	得		得	〔電装〕
藤本	0	GK	0	森
村上	0		0	神戸
山上	3	FP	0	杉村
前田	0		5	橋本
湊	4		3	西木戸
中村	7		2	久本
藤村	0		1	岸田
中村	3		6	井上
重永	2		2	岡崎
東	0		4	樋口
竹田	1		0	近藤
手島	0		2	難波
		〔審・北本、大原〕		
(0)	20	PT	25	(0)

豊田自動織機30（14―9、16―9）18自衛隊久里浜

〔戦評〕前半立ち上がり自衛隊久里浜が2点とったものの、10分を過ぎたあたりからパスミスなどのミスが続き、豊田自織の逆速攻を許してしまった。

ディフェンス面では互角だったが、速攻、セットプレーに正確性の高かった豊田自織の勝利。

〔久里浜〕	得		得	〔自織〕
下平	0	GK	0	柴田
			0	中村
渡辺	2	FP	6	蟹江
中根	3		3	奥畑
洲鎌	0		9	大野
黒木	9		1	諫山
友利	1		6	山内
永谷	1		0	笹嶺
白坂	0		0	新田
黒木	1		5	鎌田
菅野	0		0	杉浦
梅田	1			
		〔審・萬場、里〕		
(0)	18	PT	30	(0)

日本発条17（7―8、10―8）16金沢市役所

〔戦評〕両者とも速攻がなかなか出せず、セットプレーの展開となった。また、両者ともミスが多く決定的な点数差がつかず最後までもつれたが、1点差で日本発条が逃げ切った。

〔金沢〕	得		得	〔発条〕
竹中	0	GK	0	清水
藤井	0		0	手島
池村	1	FP	5	井上
垣内	4		2	山田
中納	1		4	呉座
橋本	1		2	中村
西山	0		0	進藤
倉	0		2	舛屋
西田	3		2	井上
岡	3		0	石塚
八日市屋	1		0	及川
酒井	2			
		〔審・小山、佐路〕		
(0)	16	PT	17	(0)

ワールド27（14―11、13―9）20福山NKK

〔戦評〕両者ともディフェンスが甘く、NKKはミドル、サイド攻

〔NKK〕	得		得	〔ワールド〕
辺見	0	GK	0	平野
井上	5	FP	4	坂根
村田	6		4	筏
岡崎	5		5	井尻
小松	0		6	市川
篠田	1		0	中村
金井	2		4	山根
井上	1		4	北村
松村	0			
林	0			
		〔審・木和田、岩橋〕		
(0)	20	PT	27	(0)

撃、ワールドは速攻で得点をあげ前半20分までは一進一退、やや走力に勝るワールドが3点リードして前半を終る。後半に入ってもワールドの速攻がよく決まり、ワールドの完勝であった。

竹芝精巧 26 〔10―9／16―9〕 18 豊田合成

〔戦評〕前半立ち上がり、竹芝精巧は速い動きと個人技で一方的に加点していく。豊田合成は上條のシュートが決まり出すとディフェンスも動きが良くなり、追撃を見せ互角の内容となるが、立ち上がりの差を詰めることはできなかった。

	〔合成〕	得	〔竹芝〕	得
GK	則武	0	小幡	0
GK	梅村	0		
FP	中山	0	松本	1
FP	花井	5	三幸	0
FP	渡辺	0	桐木	10
FP	宇佐美	1	森口	1
FP	片岡	2	三本	5
FP	森	0	今村	1
FP	真島	0	百合野	1
FP	有竹	1	中間	3
FP	小林	1	吉川	4
FP	上條	8		
PT	(0)	18	(6)	26

（審・萬場　里）

2回戦

三景 34 〔20―8／14―12〕 20 アイシン精機

〔戦評〕前半開始から15分まで三景が木原、赤池のロングで得点を重ね、4点差をつけるが、残り10分からアイシンの喜佐田、中村のロングと速攻でいったんは12―12の同点に追いつく。しかし、残り3分に三景が2点をあげ、14―12で前半を終了。

後半に入り、開始より三景のディフェンスが良くなり、速攻などで6点を連取、その後もリズムにのり大差をつけて押し切る。

	〔アイシン〕	得	〔三景〕	得
GK	垂見	0	北川	0
GK			長橋	0
FP	横井	1	近藤	5
FP	今野	3	福永	0
FP	中村	3	福士	5
FP	隈元	1	西川	12
FP	松田	4	斉藤	6
FP	喜代田	6	大谷	2
FP	松野	2	小金山	3
FP			木原	1
PT	(2)	20	(4)	34

（審・位田　林田）

日鉄建材 29 〔12―10／17―7〕 17 新日鉄大分

〔戦評〕日鉄建材は、立ち上がりボール回しのリズムがつかめない新日鉄大分の攻撃ミスを速攻につなぎ、10分までに6―0と大きくリード。その後も日鉄建材、上山がロングをよく決め、前半を10点リードで終了した。

後半に入り、新日鉄は積極的に走り、南、河野がよく得点し、前半の劣勢が嘘のような攻撃を見せて互角のゲームとなった。しかし前半の得点差が大きく、日鉄建材が大差をつけて逃げ切った。

	〔大分〕	得	〔日鉄〕	得
GK	賎満	0	川上	0
FP	安部	1	霜村	2
FP	牧	1	杉本	6
FP	房前	1	山口	4
FP	麻生	1	池辺	2
FP	南	8	上山	6
FP	河野	5	外山	4
FP	伊東	0	清原	1
FP			若本	2
FP			玉嶋	2
PT	(0)	17	(3)	29

（審・岩橋　木和田）

セントラル自動車 23 〔13―7／10―9〕 16 JUKI

〔戦評〕前半、両チームともスピードある攻撃で互角の接戦となるが、GKの好守もあり、セントラルが1点リードで折り返す。

後半に入ってミスの多いJUKIに対し、チャンスを確実に得点につなげたセントラルが逃げ切った。

	〔JUKI〕	得	〔セント〕	得
GK	長谷川	0	佐藤	0
GK			寿田	0
FP	福地	0	笠場	3
FP	北村	2	瀬戸	0
FP	塩野	4	尾形	2
FP	河野	0	海老原	4
FP	沢井	0	守谷	2
FP	吉田	1	貴船	0
FP	鷹野	5	中村	2
FP	海老原	3	千葉	8
FP	長澤	0	佐藤	0
FP	永松	1	阿部	3
PT	(3)	16	(1)	24

（審・能波　武田）

本田技研爽風会 40 〔15―8／25―4〕 12 コスモ石油

〔戦評〕固い守りの爽風会に対しコスモは防戦一方。爽風会はGKの好キーピングにより、速攻、ポスト、ロングなど多彩な攻撃をみせて着々と加点していった。

一方的大差のついた一戦となってしまった。

	〔コスモ〕	得	〔本田〕	得
GK	谷口	0	三宅	0
GK			高木	0
FP	善岡	1	平山	4
FP	北畑	3	香西	5
FP	高橋	0	関根	8
FP	川端	4	平松	4
FP	八木	2	山下	5
FP	大崎	2	松下	3
FP	昆野	0	金沢	1
FP	松本	0	弥吉	5
FP			東	5
PT	(2)	12	(0)	40

（審・小山　佐路）

中村荷役 37 〔18―7／19―6〕 13 出光千葉

〔戦評〕前半、出光がサイドのノーマークシュートをはずしたのに対してシュートを確実に決めた中村荷役が大きくリード。中村荷役がスピードに勝り、終始押し気味の試合を見せたが、両チームともにミスの多い試合であった。

	〔出光〕	得	〔中村〕	得
GK	池永	0	石井	0
GK			飯塚	0
FP	久村	0	三尾	3
FP	保原	0	塚田	1
FP	赤羽	2	中村	7
FP	重永	1	大木	7
FP	小浦	1	下戸成	4
FP	永石	1	松本	1
FP	清村	2	堀戸	9
FP	後藤	1	池田	4
FP	鶴岡	2	飯田	1
FP	大木	3	坂口	0
PT	(0)	13	(2)	37

（審・阪本　河戸）

日本電装 21 〔11―10／10―8〕 18 大阪ガス

〔戦評〕前半、両チームともセットプレー、速攻で23分過ぎまで同点、結局日本電装が2点をリードして前半を折り返した。

後半に入っても同じような展開

だったが、日本電装が要所要所でのゴールを決めてゲームをものにした。

	〔ガス〕	得	〔電装〕	得
GK	福田	0	森	0
	森	0	神戸	0
FP	奥野	4	杉村	1
	加地	3	橋本	4
	竹志	0	西木戸	3
	中村	2	久本	0
	長田	2	岸田	0
	水谷	5	井上	3
	田坂	1	岡崎	1
	藤田	1	樋口	4
			近藤	0
			難波	5
PT	(1)	18	(2)	21

〔審・萬場、里〕

豊田自動織機 24〔11—5、13—14〕19 日本発条

〔戦評〕前半、両チームとも立ち上がりスローペース。10分過ぎより点が動き出し、豊田自織が速攻、ロングで着実に得点をあげ、豊田の6点リードで折り返した。
後半、日本発条もよく頑張り両チームとも点の取り合いとなったが、豊田が前半のリードを守って逃げ切った。

	〔発条〕	得	〔自織〕	得
GK	清水	0	柴田	0
	手島	0	中村	0
FP	井上	3	蟹江	0
	山田	3	奥畑	3
	呉座	6	大野	7
	中村	3	諌山	5
	進藤	0	山内	6
	舛屋	2	笹嶺	0
	井上	2	新田	0
	石塚	0	鎌田	3
	及川	0	杉浦	0
PT	(0)	19	(0)	24

〔審・吉田、兼田〕

竹芝精巧 37〔17—6、20—3〕9 ワールド

〔戦評〕前半から竹芝が速攻、ポスト、今村のロングシュートなどで着々と加点し、一方的なゲーム展開となった。ワールドは単調な攻めで、早めに前につめる竹芝のディフェンスを破れなかった。

	〔ワールド〕	得	〔竹芝〕	得
GK	平野	0	小幡	0
FP	坂根	2	松本	3
	筏	0	三幸	2
	井尻	3	桐木	8
	市川	1	森口	2
	中村	1	三本	3
	山根	2	今村	3
	内海	0	百合野	3
			中間	8
			吉川	5
PT	(0)	9	(8)	37

〔審・家永、奥田〕

3回戦

三景 34〔17—10、17—8〕18 日鉄建材

〔戦評〕日鉄建材が立ち上がり連続得点し、波に乗ろうとするが、三景がGKの好守からペースをつかみじりじりと追い上げる。前半20分頃までは、一進一退の攻防であったが、日鉄建材の攻撃が単調となり、シュートミスが目立って逆速攻を受ける。三景は少しずつ点差を広げ、7点差で前半を終了。
後半も三景のペースで試合が展開され、大差をつけて日鉄建材を下す。

	〔日鉄〕	得	〔三景〕	得
GK	川上	0	北川	0
			長橋	0
FP	霜村	1	近藤	2
	杉本	1	福永	2
	山口	0	福士	7
	池辺	2	西川	7
	上山	9	斉藤	8
	外山	1	大谷	1
	清原	3	小金山	7
	若本	0	木原	0
	玉嶋	1		
PT	(4)	18	(2)	34

〔審・木和田、岩橋〕

本田技研爽風会 27〔10—11、17—12〕23 セントラル自動車

〔戦評〕前半、立ち上がりから両チームともスピードのある攻撃で点を取り合い、両チームのGKの好守もあって見応えのあるゲーム展開でセントラルの1点リードで前半を終了。
後半に入ってもスピードは衰えず、残り6分までは一進一退のゲーム展開。しかし爽風会は平山のジャンプシュート、相手ミスからの速攻とたてつづけに得点し、終了間際に4点差として接戦をものにした。

	〔セント〕	得	〔本田〕	得
GK	佐藤	0	三宅	0
	寿田	0	高木	0
FP	笠場	4	平山	12
	瀬戸	0	香西	1
	尾形	2	関根	4
	海老原	4	平松	4
	守谷	4	山下	4
	貴船	2	松下	0
	中村	0	金沢	0
	千葉	4	弥吉	2
	佐藤	0	東	0
	阿部	3		
PT	(0)	23	(5)	27

〔審・西村、奥田〕

日本電装 28〔10—16、18—8〕24 中村荷役

〔戦評〕前半、若い日本電装がよく走り、巧者・中村荷役と対等に試合を進めるが、それも20分過ぎまで。中村はラスト10分から巧者ぶりを発揮し、一気に16—10と差を広げ折り返す。
後半も日本電装はよく走り反撃、20分には20—20と追いつく。その後シーソーゲームとなるが、日本電装は若さをフルに発揮し、巧者・中村を28—24で破った。

	〔中村〕	得	〔電装〕	得
GK	石井	1	森	0
	飯塚	0	福戸	0
FP	三尾	4	杉村	11
	塚田	4	橋本	3
	中村	0	西木戸	3
	大木	2	久本	0
	下戸成	7	岸田	2
	松本	1	井上	3
	堀戸	0	岡崎	3
	池田	1	樋口	0
	飯田	3	近藤	0
	坂口	1	難波	3
PT	(5)	24	(4)	28

〔審・萬場、里〕

竹芝精巧 25〔12—13、13—11〕24 豊田自動織機

〔戦評〕前半、遠めからのシュート力に勝る豊田自織が終始優勢に試合を進めるが、竹芝も粘りのプレーでじりじりと追い上げ、1点差で前半を終了。前半終了間際、

	〔自織〕	得	〔竹芝〕	得
GK	柴田	0	小幡	0
	中村	0		
FP	蟹江	5	松本	3
	奥畑	4	三幸	5
	大野	3	桐木	2
	諌山	2	森口	0
	山内	8	三本	2
	笹嶺	0	今村	6
	新田	0	百合野	0
	鎌田	2	中間	6
	杉浦	0	吉川	1
PT	(2)	24	(2)	25

〔審・吉田、兼田〕

竹芝のロングシューター今村が失格となって竹芝は大きなハンディを負うこととなった。

後半は一進一退の好ゲームとなったが、すばやいボール回しからのサイド攻撃、速攻で竹芝精巧がせり勝った。

準決勝

本田技研爽風会 30（15―15、11―11、2―2、2―1）19 三景

〔戦評〕開始早々、爽風会・平山がフリースローを直接ゴール。これで波に乗った爽風会が4―1でリードを奪った。三景も福士のカットイン、ミドルで追走、19分に爽風会・関根退場をきっかけに速攻から斉藤の押し込みで21分に三景が逆転、一進一退のゲーム展開となった。

後半に入っても互角。15分に山下の連続速攻で2点リードした爽風会に三景は福士のミドルで追撃。終了間際、三景は同点のPT、ノーマーク速攻を爽風会GK三宅に止められたが、西川が執念のゴールで延長戦へ持ち込んだ。

延長前半は、三景の福士がPTを決めて先制。爽風会も負けじと同点に追いつき後半へ。爽風会が平松のジャンプ、弥吉のサイドで貴重な2点のリードを奪い、三景の反撃を斉藤のロング1点に押さえて逃げ切った。

得	〔三景〕		〔本田〕	得
0	北川	GK	三宅	0
0	長橋		高木	0
5	近藤	FP	平山	7
1	福永		香西	1
12	福士	（審・萬場 里）	関根	3
2	西川		平松	5
7	斉藤		山下	9
0	大谷		松下	0
2	小金山		金沢	0
0	木原		弥吉	5
			東	0
29	(4)	PT	(1)	30

日本電装 27（12―11、15―15）26 竹芝精巧

〔戦評〕前半、竹芝精巧が3点連取するも日本電装は徐々に追いつき、20分には6―5と逆転。その後は日本電装はスピーディな攻撃を展開して先行するが、竹芝は今村のロング4連取でなんとか食いついて前半を終了した。

後半、開始早々日本電装が一気にスパート、ポスト、速攻、ミドルとムラなく得点、後半10分19―16と初めて3点以上のリードを奪い、15分22―18、20分26―21、25分27―22と5点をリードして試合を決定したかに思えたが、竹芝も最後の反撃で残り30秒27―26と1点差まで追い上げたが僅かに及ばなかった。竹芝としては、後半中ばのペースダウンが響いた。

得	〔竹芝〕		〔電装〕	得
0	小幡	GK	森	0
			神戸	0
3	松本	FP	杉村	3
2	三幸		橋本	4
4	桐木	（審・木和田 岩橋）	西木戸	6
0	森口		久本	1
4	三本		岸田	0
9	今村		井上	8
0	百合野		岡崎	2
4	中間		樋口	1
0	吉川		近藤	1
			難波	1
26	(4)	PT	(2)	27

3位決定戦

竹芝精巧 30（13―16、17―12）28 三景

〔戦評〕前半23秒、あざやかな小金山のスカイプレーで三景が先制。3分過ぎにも西川の速攻からのシュートが決まり2―0。一方竹芝は2分にPTを得るがゴールならず、3分20秒、再び得たPTを中間が決めて三景を追う。三景は小きざみに得点を重ねるが、竹芝はシュートミス、パスミスなどがつづき、16―13と三景の3点リードで折り返す。

後半に入ってからは竹芝がペースをつかみ、3分吉川のパスカットをきっかけにゲームの主導権を奪う。22分過ぎ、三景GK北川のルーズボールを竹芝・吉川が決め浮き足立った三景を逆転、2点差をつけて勝利をものにした。

得	〔三景〕		〔竹芝〕	得
0	北川	GK	小幡	0
0	長橋			
5	近藤	FP	松本	2
1	福永		三幸	2
5	福士	（審・西村 奥田）	桐木	9
8	西川		森口	0
2	斉藤		三本	5
2	大谷		今村	2
5	小金山		百合野	0
0	木原		中間	8
			吉川	2
28	(1)	PT	(5)	30

決勝

本田技研爽風会 38（20―12、18―13）25 日本電装

〔戦評〕前半立ち上がり、爽風会は平山や平松のロングで得点をあげるのに対して日本電装はシュートミスが目立ち、1―1から5分間無得点。その間に得点差を大きく広げられる。日本電装は1点取っては3点取られといったペースで、ディフェンス力の弱さが目立った。前半、シュートミスが爽風会の4本に対し日本電装は14本というのが大きかった。

後半に入り、確実に得点をあげていく爽風会に対してシュートミスが目立つ日本電装はズルズルと差をあけられていく。

シュートの決定力の差があまりにも大きかった。

得	〔電装〕		〔本田〕	得
0	森	GK	三宅	0
0	福山		高木	0
9	杉村	FP	平山	8
1	橋本		香西	1
0	西木戸	（審・吉田 兼田）	関根	5
2	久本		平松	10
1	岸田		山下	7
1	井上		金沢	0
3	岡崎		弥吉	5
4	樋口		東	1
0	近藤		松下	1
4	難波			
25	(4)	PT	(1)	38

特別寄稿

ソウル・オリンピックからバルセロナへ

京都府ハンドボール協会理事長　小西博喜

去る一九八八年9月18日、私は慶熙大学校政経大学ハンドボール部長・朱誠完教授、韓国男子ナショナルチーム柳在忠監督の招きでソウルを訪れる機会を得た。私にとっては一九七五年以来2度目であるが、ソウル・オリンピックの開会式をテレビで見て、東京オリンピックからすでに24年を過ぎ、アジアで2回目のオリンピックを迎えるこの大きな感動に期待を寄せて大阪空港を発った。到着した金浦国際空港は、一九八〇年に完成されたものだが、見違えるほど近代化したその建造物にまず驚かされた。空港には朱教授と慶熙大学ハンドボール部李コーチの出迎えを受けた。オリンピック道路から見る高層住宅街の立ち並ぶ景観の中で、63階建てのオフィス、会館など道路の整備を含めて、ソウル・オリンピックに向けて韓国経済の高度成長ぶりが伺える。

韓国は一九八六年にアジア競技大会を開催し、そして2年後の今回ソウル・オリンピックを開催するなど、その韓国パワーには目を見張るものを感じる。ハンドボール競技会場となった水原室内体育館は、五五〇〇人が収容できるが、会場出入り口では所持品検査とボディーチェックを受けなければならない。切符を買い求める入口と体育館の入口の2箇所に数名の係員がいてテロの侵入に異常なまで、神経をとがらせている。私はカメラを持っていたので時々シャッターを切って、爆発物の仕掛けがないことを証明して見せた。

ハンドボール競技の日本男子チームは遺憾ながら11位という不振な結果に終った。それに比べて韓国男子は銀メダル、女子が金メダルに輝き、世界のハンドボール界の中で画期的な偉業を達成したのである。それにしても今回のオリンピックにおける韓国のパワーの選手強化は大変なものであった。金メダルを取得した選手は60万（約12万円）、銀メダルには40万（約8万円）、銅メダルは20万（約4万円）が選手のみ年金として支給されるのをみてもわかる（監督、コーチには支給されない）。今世界のハンドボール界は東欧諸国を中心に発展しようとしているが、韓国男女の偉業は、アジアのハンドボール界の先駆者としてバルセロナ・オリンピックに向けての大きな教訓と課題も与えてくれたといえよう。

昨年末、朱教授と柳監督から届いた手紙を紹介し参考に付記したい（63年12月25日の受信）

朱教授は「ソウル・オリンピックと市民体育について、最近になって市民のための体育についてよくいわれている。真実の意味での体育とは専門的な選手を養成するものではなく、すべての市民がスポーツを楽しむ中で、自然に市民の体力が向上するものでなければならない。すなわち、それが体育の大衆化または社会化である。一九八八年オリンピックを契機に国際水準の立派な体育施設が建てられた。ところが、オリンピックが終った今まで効率的に一般市民に使用されていないとすれば問題がある。市民体育館施設は必ず都市の規模、その活用度、それから地域性などを充分に考慮したものでなければそれは無用の長物になってしまう。あまり都市中心的な施設でもよくないし、村にも余程の施設がなければならない。その施設も多目的であり、その水準も同じものでなければならない。ここで重要に考えなければならないことは、市民のための体育も重要であるけれども国威発揚のためのエリート養成も重要なことである。故に政府の体育振興政策も二元的でなければならないと思う。」（日本語文のまま）。

また、柳監督は「ソウル・オリンピックにおいて、韓国人はドイツ人の組織力、東洋人の礼儀、米国人の経済的感覚を発揮して、ソウル・オリンピックを通じてオリンピックの運動に新らしい認識を与えてくれた。オリンピックの期間中、自家用車はナンバープレートの最後尾の数が一・三・五の奇数と二・四・六の偶数による運行日に分けられ、親切をモットーとした美徳など自慢することができる。その市民精神と一緒に競技ごとに全国民の関心の中で、団結心と一体感、協調精神を自ら願った奉仕者たちの献身的な活動、組織力、行事、進行運営は過去のどの大会にもみることができなかった素晴らしい大会であった。また競技力の面でも韓国は、金12個、銀10個、銅11個を得て世界第4位を占め、自ら知らなかった潜在力を世界に示して、韓国がいいイメージになったことは最も大きな収穫であると思う。

朱教授宅にて

① ソウル・オリンピックの韓国男子ハンドボールチームの訓練は、一九八六年2月スイスの第11回世界男子ハンドボール選手権で5・6位のアイスランド、チェコを破って、誰でもできるという自信感を得た。さらに、同年9月ソウルで開催されたアジア大会では、中国、日本に勝って、もっと自信を持つようになった。アジア大会を終って年寄った選手6名を身長の高い新人に交替させた。世界の頂点である東欧諸国に比べて体格的な条件として、韓国選手は身長6～7㎝低く、体重は12～13kg軽いことがわかった。その弱い面を体力でカバーしようと60％を体力強化のための訓練にあてた。また、専門的な訓練は40％の中で、20％は守備練習を行ない、前進守備三・二・一システムを練習した。攻撃面では両サイドの得点力を高めることによって、相手の守備陣の幅を広げ、センターでは速いパスを利用したフェイント、スクリーンプレー、クロスプレーを活用し、身長の高いプレーヤーに対応した戦術として速攻、遅攻の変化に慣れるように努力した。遅攻ではさらによりチャンスが来るまで攻撃の時間を長く保持するようにした。体力と専門技術の面でも個人の長所・短所を把握し、とくに重点的には戦術を習得することにあっても、相手のチームのビデオテープを通じて個人と集団の長所、短所を充分理解して、相手の戦術になれるようにしたのが良い結果をもたらしたと思う。

② ソウル・オリンピックは参加チームの戦力から比較して優勝したソ連の体操競技にたとえるならば10点満点に価すると思う。

ソ連ハンドボールチームの平均年齢は25歳、身長と体重は他の東欧諸国のチームに比べると、身長で約4～5㎝高く、体重は6kg重いことがわかった。さすがにソ連チームは体格の条件でもよかったし、若くて勇気のあるチームであった。

各地域を代表して出場したアジアの日本、アフリカ大陸のアルジェリア、アメリカ大陸のアメリカは、体力および個人の技量、チームの戦術面では他の参加チームに比べて一段階低いと感じた。その他のチームはチームに長所・短所はあったけれども、戦力面では優劣をつけることはむずかしいと思う。ただソ連チームを除いた他のチームは、2～3名のゴールゲッターを中心に戦ったので、エース級の2～3名を攻撃面でどのように活用していくか、また、守備面ではどのように防禦するかによって勝敗が左右された。全体的な試合の戦術面をみると、攻撃面ではピストンプレーとブロックプレーを利用したヨーロッパのチームが、スクリーンプレーとクロスプレーを多く活用していた。また、守備面ではどのシステムでも攻撃的であったし、戦闘的な形に変えていた。

③ 韓国と日本が世界の大会に出ようとすれば、あるいは東洋人が世界のトップレベルに肩を並べるためには、まず体格の劣勢を体力の訓練を通じてもっと強くて速い動きのできるからだと、基礎技術を充実させて東洋人にあう競技の技術、及び戦術をあみ出すことが重要なカギである。

今回のソウル・オリンピック大会では、日本チームは前半15分まではどの試合でも対等の試合をしていたが、15分以降は体力の劣勢で競技らしい競技をすることができなかったし、戦術面でも宮下（大崎電気）、玉村（湧永製薬）のみに頼っているので、日本チームに対して相手チームは簡単に戦術を理解し対応することができた。

そこで、日本チームの敗因を自分なりに結論するならば、体力面では補強がみられず、前進守備、速い攻撃に問題があったし、競技技術の能力に比べてプレーが余りに早過ぎる。また速攻だけに頼ってミスが多かったし、日本チームに似合った戦術の開発が不足だったと思われる。さらに、チームの個性、個人の技術に特別な技術がなかったと思われる。」（原文は韓国居留民団本部で訳す）。以上、貴重な意見を述べた評価をしている。

ご承知のように、柳監督が12年間にわたるナショナルチームの男子監督として、世界の王座を目指して難攻不落のカベといわれるヨーロッパの強豪を倒して行ったその強い執念と彼の人柄に接する時、心からの祝福を贈り、敬意を表したい。

そして、4年後に迫り来るバルセロナ・オリンピックに向けて、平成の時代にふさわしい〃より国際化へ〃目指した新組織づくりの改善と力強いナショナルチーム再建の修業に夢と期待を寄せるものである。

各地の記録から…

東北

第26回山形県選手権

（10月3、4日／東根市民体育館）

〈男子〉

▼決勝

山形新球会26〔12－11 14－7〕18北村山高A

〈女子〉

▼決勝

米沢女高OG会16〔9－7 7－9〕12日大山形高

第31回宮城県総合選手権

（11月25〜27日／古川市総合体育館ほか）

〈男子〉

▼1回戦

泉松陵高 18－17 築館高
仙台東高 26－18 電子工高
仙台南高 21－17 宮城高専
仙台大 46－10 仙台西高
古川商高 30－13 仙台三高
古川高 29－16 学院榴ケ岡高
東北電力 25－23 古川工高
東北大OB 28－19 佐沼高
宮城教員 29－20 古川工高OB
宮城教育大 32－17 塩釜高
東北大 41－3 東北高
仙台二高 26－18 一迫商高
塩釜高OB 不戦勝 育英高OB

▼2回戦

東北学院大OB 38－17 塩釜高OB
東北大OB 32－17 泉松陵高
宮城教員 35－27 仙台東高
仙台大 33－13 仙台南高
古川商高 35－20 育英高
宮城教育大 32－22 古川高
東北大 27－19 東北電力
東北学院大 39－13 仙台二高

▼3回戦

東北学院大OB 33－18 東北大OB
宮城教員 29－26 仙台大
古川商高 34－20 宮城教育大
東北学院大 20－14 東北大

▼準決勝

東北学院大OB 34－29 宮城教員
東北学院大 12－12 古川商高

▼決勝

東北学院大OB 27〔14－9 13－12〕21 東北学院大

〈女子〉

▼1回戦

古川女高 24－5 築館女高
聖和高 39－9 塩釜ク

▼2回戦

宮城教育大 19－10 塩釜女高
朴沢女高 20－13 宮二女高
古川商ク 25－8 佐沼高
古川商高 25－16 飯野川高
聖和ク 34－11 仙台女商高
宮一女高 33－5 宮城広瀬高
涌谷高 19－15 宮三女高
聖和高 25－7 古川女高

▼3回戦

聖和高 37－5 宮城教育大
朴沢女高 30－12 古川商ク
聖和ク 24－19 古川商高
涌谷高 27－8 宮一女高

▼準決勝

聖和高 13－12 朴沢女高
涌谷高 20－17 聖和ク

▼決勝

聖和高23〔8－2 15－2〕4涌谷商

宮城県高校新人大会

（11月4〜6日／古川市総合体育館）

〈男子〉

▼1回戦

仙台三 25－16 一迫商
築館 15－11 泉松陵
仙台一 40－7 東北
佐沼 不戦勝 上沼農
仙台南 25－21 仙台二
仙台 19－13 東北電子
宮城広瀬 23－13 泉館山
仙台西 28－23 宮城工
仙台東 38－12 名取北
古川 36－15 塩釜
宮城水産 30－17 大崎中央
仙台商 41－6 榴ケ岡

▼2回戦

仙台育英 23－11 仙台二
仙台一 28－15 築館
佐沼 20－19 仙台南
仙台向山 18－12 仙台
古川工 42－15 宮城広瀬
仙台東 33－23 仙台西
古川 34－15 宮城水産
仙台商 24－20 古川

▼3回戦

仙台育英 33－14 仙台一
仙台向山 23－12 佐沼
古川工 35－26 仙台東
仙台商 32－28 古川

▼準決勝

仙台育英 21－14 仙台向山
古川工 28－23 仙台商

▼決勝

仙台育英27〔8－11 20－11〕22古川工

〈女子〉

▼1回戦

朴沢女 32－2 名取北
古川女 22－2 佐沼
仙台西 12－9 宮城広瀬

▼2回戦

聖和 26－11 朴沢女
塩釜女 15－8 仙女商
宮一女 40－6 泉館山
宮三女 35－3 泉松陵
古川女 33－2 仙台東
飯野川 12－11 築館女
古川高 26－4 仙台西

▼3回戦

聖和 31－5 塩釜女
宮三女 23－14 宮一女
宮二女 10－9 古川女

▼準決勝

古川商 31－5 飯野川
聖和 22－11 宮三女
古川商 21－8 宮二女

▼決勝

聖和20〔8－9 12－4〕13古川商

関東

第6回千葉県クラブ秋季リーグ戦

（10月9、10、16日／流山中央高）

〈男子〉

▼1部リーグ戦

小金ク 22－19 若松ク
小金ク 22－15 佐原ク
小金ク 12－0 流山中央ク
若松ク 26－22 市川FG
若松ク 26－20 流山中央ク
若松ク 26－26 佐原ク
市川FOG 15－14 小金ク
佐原ク 25－19 流山中央ク
流山中央ク 12－0 市川FOG

〔順位〕①小金クラブ②若松クラブ③市川FOG④佐原クラブ⑤流山中央ク

▼2部リーグ

○Aブロック

勝浦パイレーツ 22－19 千葉南ク
勝浦パイレーツ 30－11 道野辺ク
千葉南ク 31－8 道野辺ク

○Bブロック

あさひク 27－20 柏南ク
あさひク 12－0 市原ク

柏南ク 12―0 市原ク
○順位決定戦
勝浦パイレーツ 28―20 あさひク
千葉南ク 34―17 柏南ク
道野辺ク 不戦勝 市原ク
〔順位〕①勝浦パイレーツ②あさひクラブ③千葉南クラブ④柏南クラブ⑤道野辺クラブ⑥市原クラブ
▼3部リーグ
○Aブロック
市松ク 31―15 ポルシェ
市松ク 13―13 沼南ク
沼南ク 32―21 ポルシェ
OBブロック
スティーラーズ 18―17 日球会
スティーラーズ 12―0 柏ク
日球会 12―0 柏ク
○順位決定戦
スティーラーズ 30―29 市松ク
日球会 19―14 沼南ク
ポルシェク 不戦勝 柏ク
〔順位〕①スティーラーズ②市松クラブ③日球会④沼南クラブ⑤ポルシェクラブ⑥柏クラブ

埼玉県高校新人大会

（10月28日～11月27日／浦和学院高、伊奈総合学園ほか）

〈男子〉
▼県大会1回戦
県坂戸 22―15 浦和西
朝霞 18―12 川口
久喜北陽 23―16 大宮北
川口北 23―13 春日部東
所沢北 27―9 埼玉第一
越谷南 15―15 小松原 1PTC0
三郷工技 18―14 所沢緑ケ丘
戸田 15―15 庄和 1PTC0
▼2回戦
浦和学院 20―5 県坂戸
川口青陵 27―24 朝霞西
川口工 21―12 科学技術
西武台 21―10 朝霞
浦和実 33―13 久喜北陽
伊奈学園 18―10 春日部工
春日部共栄 17―13 上尾東
川口北 17―10 埼玉栄
川口東 22―13 所沢北
春日部 27―11 熊谷
浦和南 21―13 富士見
東農大三 19―18 越谷南
浦和市立 21―6 三郷工技
筑波大坂戸 25―16 羽生一
川越南 13―13 秩父 2PTC1
大宮南 31―8 戸田
▼3回戦
浦和学院 34―6 川口青陵
西武台 19―12 川口工
浦和実 19―8 伊奈学園
川口北 28―5 春日部共栄
川口東 16―14 春日部
浦和実 21―17 東農大二
筑波大坂戸 17―16 浦和市立
大宮南 28―12 川越南
▼準決勝リーグ
○1組
浦和学院 15―14 浦和実
浦和学院 27―17 川口北
浦和学院 19―8 西武台
浦和実 14―11 川口北
浦和実 25―13 西武台
川口北 18―18 西武台
〔順位〕①浦和学院②浦和実③川口北④西武台
○2組
大宮南 26―15 浦和南
大宮南 33―14 筑波大坂戸
大宮南 20―14 川口東
浦和南 25―22 筑波大坂戸
浦和南 20―16 川口東
筑波大坂戸 22―16 川口東
〔順位〕①大宮南②浦和南③筑波大坂戸④川口東
▼7、8位決定戦
川口東 17―15 西武台
▼5、6位決定戦
川口北 22―15 筑波大坂戸
▼3、4位決定戦
浦和実 30―7 浦和南
▼決勝
浦和学院 22（9―9、13―8）17 大宮南

〈女子〉
▼県大会1回戦
浦和西 13―11 幸手商
春日部共栄 18―18 浦和市立 2PTC0
狭山 39―8 鳩ケ谷
秋草学園 26―10 浦和商
春日部東 26―16 北本
川口女 28―11 草加
庄和 42―0 上尾南
越谷南 22―3 大宮南
▼2回戦
浦和実 61―1 浦和西
八潮南 28―3 東農大三
浦和学院 34―3 秩父
羽生一 31―10 春日部共栄
川口北 39―4 狭山
志木 12―6 戸田
行田女 14―14 宮代 3PTC2
上尾東 31―7 秋草学園
八潮 36―9 春日部東
浦和南 33―3 本庄女
熊谷女 21―6 三郷北
川口女 22―13 筑波大坂戸
伊奈学園 20―10 庄和
春日部女 23―11 朝霞
小松原女 20―2 所沢北
川口青陵 35―4 越谷南
▼3回戦
浦和実 35―8 八潮南
羽生一 18―6 浦和学院
川口北 30―10 志木
上尾東 24―4 行田女
八潮 10―7 浦和南
川口女 16―14 熊谷女
伊奈学園 17―12 春日部女
川口青陵 25―5 小松原女
▼準決勝リーグ
○1組
浦和実 16―13 上尾東
浦和実 18―18 川口北
浦和実 29―11 羽生一
上尾東 14―12 川口北
上尾東 24―10 羽生一
川口北 27―11 羽生一
〔順位〕①浦和実②上尾東③川口北④羽生一
○2組
川口青陵 25―11 八潮
川口青陵 31―14 川口女
川口青陵 38―10 伊奈学園
八潮 14―11 川口女
八潮 12―7 伊奈学園
川口女 21―14 伊奈学園
〔順位〕①川口青陵②八潮③川口女④伊奈学園
▼7、8位決定戦
伊奈学園 12―11 羽生一
▼5、6位決定戦
川口北 22―10 川口女
▼3・4位決定戦
上尾東 18―9 八潮
▼決勝
川口青陵 17（6―10、10―6、0―0、1―0）16 浦和実

第6回千葉県中学新人大会

（日程、場所不明）

〈男子〉
▼1回戦
東邦 10―9 市川
富田 15―13 柏南
野田一 18―11 草野
花園 13―9 葛飾
福栄 17―7 見明川
逆井 27―9 流南
河原塚 18―9 誉田
妙典 20―3 若松
▼2回戦
東邦 15―6 富岡
花園 9―5 野田一
逆井 14―12 福栄

妙典 16―3 河原塚

▼準決勝

東邦 11―9 花園

妙典 16―5 逆井

▼3位決定戦

逆井 17―13 花園

▼決勝

妙典 17（9―4、8―3）7 東邦

※妙典は初優勝。

〈女子〉

▼1回戦

市川二 19―5 逆井

福栄 19―8 東国分

▼2回戦

野田一 20―18 市川二

佐原二 8―3 若松

昭和 21―5 西志津

二宮 24―0 聖徳

妙典 16―2 上志津

白井 13―6 磯辺二

葛飾 18―3 こてはし台

花園 24―3 福栄

▼3回戦

野田一 10―9 佐原二

二宮 19―3 昭和

妙典 13―9 白井

花園 12―11 葛飾

▼準決勝

二宮 10―7 野田一

花園 18―6 妙典

▼決勝

花園 5（2―3、3―1）4 二宮

※花園は初優勝。

第26回東京都選手権

（11月3、6、13日／JUKI体育館）

〈男子〉

▼1回戦

東京大A 13―11 それん

首里ク 16―10 サープラス

桜球会 46―21 三崎ク

神楽坂 29―23 玉川大

ラージェスト 26―21 JUKI

MHC 29―14 東京体育ク

▼2回戦

桜門ク 24―15 東京大A

首里ク 15―13 日体大A

三景麹町 18―17 桜球会

明治大 35―14 世田谷ク

神楽坂 32―24 Mr.サンヨー

ラージェスト 23―22 日体大B

東京大B 28―17 中央大

MHC 19―18 中村荷役運輸

▼3回戦

桜門ク 27―14 首里ク

三景麹町 25―16 明治大

ラージェスト 37―27 神楽坂

東京大B 25―19 MHC

▼準決勝

桜門ク 28―19 三景麹町

ラージェスト 28―27 東京大B

▼決勝

桜門ク 41（17―17、15―15、5―3、4―2）37 ラージェスト

〈女子〉

▼1回戦

武蔵野ク 28―12 東京YMCA

▼準決勝

JUKI 40―15 武蔵野ク

サンヨーMiss 16―11 FOX

▼決勝

JUKI 56（29―4、27―7）11 サンヨーMiss

第15回千葉県総合選手権

（11月3、5、6日／三井石化、出光千葉、コスモ石油各体育館）

〈男子〉

▼1回戦

武道大E 22―15 我孫子高OB

理科大B 25―24 出光千葉

学館浦安A 17―12 小金高A

東京学館A 14―12 幕張北高

若松ク 28―18 海自下総B

若潮ク 29―11 拓大紅陵

千葉大OB 29―13 我孫子高A

武道大B 28―19 若松高

市原高B 12―11 八千代高

市松倶楽部 18―17 泉高

海自下総A 32―14 木更津高

市原高A 24―15 小金高B

千葉南ク 22―14 三井石油

理科大A 22―19 武道大D

我孫子高B 18―16 流山中央ク

小金ク 22―3 船橋東高

学館浦安B 29―6 白球会

日産石化 21―19 佐原高

▼2回戦

武道大E 28―17 理科大B

東京学館B 15―12 学館浦安A

武道大C 19―12 東京学館A

若松ク 32―17 若潮ク

武道大B 27―15 千葉大OB

コスモ石油 26―14 市原高B

市川高 36―13 市松倶楽部

海自下総A 37―9 市原高A

理科大A 28―17 千葉南ク

我孫子高B 15―4 京葉高

武道大A 28―16 小金ク

学館浦安B 21―13 日産石化

▼3回戦

武道大E 27―24 東京学館B

若松ク 24―21 武道大C

武道大B 33―17 コスモ石油

市川高 27―21 海自下総A

理科大A 36―11 我孫子高B

武道大A 47―16 学館浦安B

▼準々決勝

千葉教員 35―28 武道大E

武道大B 27―19 若松ク

市川高 21―17 理科大A

武道大A 42―30 若潮ナッツ

▼準決勝

千葉教員 26―24 武道大B

武道大A 33―20 市川高

▼決勝

千葉教員 30（16―13、14―15）28 武道大A

〈女子〉

▼リーグ戦

千葉ク 19―12 御宿家政高

千葉ク 28―10 なのはなク

千葉ク 27―2 明徳高

なのはなク 25―15 明徳高

なのはなク 16―12 御宿家政高

御宿家政高 23―5 明徳高

〔順位〕①千葉ク②なのはなク③御宿家政高④なのはなク

第38回茨城県総合選手権

（11月3、6日／笠間高校）

〈男子〉

茨城コンドルズ 32－8 牛久高
玉藻ク 23－8 土浦工高
水海道一高 27－19 竜ケ崎南高
土浦日大高 34－4 常陽銀行
岩井高 22－7 玉造工高
伊奈高 20－17 土三高ク
茎崎ク 25－16 波崎高
茨城大 16－16 笠間高
抽選勝
太田一高 27－15 日本原研
笠間ク 16－14 麻生高
桐の葉ク 19－6 緑岡高
藤代ク 14－14 竜ケ崎一高
抽選勝

▼2回戦

茨苑ク 18－17 茨城コンドルズ
水海道一高 16－9 玉藻ク
土浦日大高 13－12 岩井高
伊奈高 22－9 水戸一高
茎崎ク 不戦勝 筑波学園ク
茨城大 17－12 太田一高
笠間ク 25－14 桐の葉ク
土浦湖北高 24－20 藤代ク

▼3回戦

茨苑ク 14－13 水海道一高
伊奈高 16－16 土浦日大高
2 PTC 1
茨城大 24－14 茎崎ク
笠間ク 26－20 土浦湖北高

▼準決勝

茨苑ク 30－12 伊奈高
笠間ク 24－23 茨城大

▼決勝

茨苑ク 28（12－9、16－6）15 笠間ク

〈女子〉

▼1回戦

鉾田二高 16－8 麻生高A
水海道二高 30－5 高萩高
竜ケ崎二OG 20－9 潮来高
結城二高 17－8 桜芳ク
竜ケ崎二高 20－9 水海道一高

▼2回戦

茨城大 16－14 鉾田二高
水海道二高 17－19 竜ケ崎二OG
麻生高B 19－10 結城二高
御城ク 18－10 竜ケ崎二高

▼準決勝

水海道二高 20－14 茨城大
御城ク 24－21 麻生高B

▼決勝

水海道二高 26（12－11、14－9）20 御城ク

埼玉県中学校新人大会

（11月12、13日／大久保中学）

〈男子〉

▼1回戦

吉川南 18－14 大久保
豊春 18－11 蓮田
上大久保 20－10 南陵
富士見西 23－9 川島
喜沢 24－16 戸塚
越谷北 19－17 狭山西
浅羽野 37－7 羽生西
中野 21－12 朝霞五

▼2回戦

吉川南 21－14 豊春
富士見西 29－14 上大久保
喜沢 30－13 越谷北
朝霞五 36－11 浅羽野

▼準決勝

富士見西 20－9 吉川南
中野 24－10 喜沢

▼決勝

富士見西 21－13 中野

〈女子〉

▼1回戦

戸塚 23－1 三郷前川

▼2回戦

榛松 15－5 戸塚
三郷栄 13－7 幸並
八潮 11－2 松山
大久保 12－10 川口芝
中野 20－11 新座三
八潮三 35－0 北本西
春日部 22－3 十二月田
八潮四 10－7 吉川中央

▼3回戦

榛松 9－4 三郷栄
大久保 18－7 八潮
中野 16－10 八潮三
春日部 20－8 八潮四

▼準決勝

榛松 19－12 大久保
春日部 9－3 中野

▼決勝

榛松 21－4 春日部

北信越

第21回長野県高校新人大会

（10月29、30日／更埴市民体育館、戸倉町総合体育館）

〈男子〉

▼1回戦

小諸 22－7 松本第一
松本美須々ケ丘 20－15 北部
野沢北 26－9 諏訪清陵
坂城 36－6 上田千曲
長野東 17－15 野沢南

▼2回戦

屋代 20－10 小諸
松本美須々ケ丘 19－18 野沢北
坂城 20－12 田川
上田 32－16 長野東

▼準決勝

屋代 26－10 松本美須々ケ丘
坂城 21－14 上田

▼決勝

屋代 24（12－7、12－7）14 坂城

〈女子〉

▼1回戦

小諸商 19－18 松本美須々ケ丘

▼2回戦

屋代 29－7 小諸商
塩尻 23－17 臼田
田川 不戦勝 北佐久農
佐久 47－7 松本蟻ケ崎

▼準決勝

屋代 23－13 塩尻
佐久 15－13 田川

▼決勝

佐久 19（7－10、12－8）18 屋代

福井県高校新人大会

（11月12日～14日／羽水高校体育館ほか）

〈男子〉

▼1回戦

福井商 13－12 武生
武生東 12－11 丹南

▼2回戦

北陸 50－2 福井商
高志 18－15 藤島
羽水 22－18 科学技術
金津 22－14 武生東

▼準決勝

北陸 25－9 高志
金津 27－21 羽水

▼決勝

北陸 35（19－10、16－12）22 金津

〈女子〉

▼1回戦

高島 16－10 藤島

▼2回戦

福井商 38－1 高志
羽水 34－6 福井農林
福井女 28－13 科学技術
仁愛女 37－4 武生商

▼準決勝

福井商 10－8 羽水
福井女 13－7 仁愛女

▼決勝

福井商 25（14－7、11－0）7 福井女

東海

第42回三重県民体育大会

（10月29、30日／津東高校）

〈成年男子〉
▼1回戦
鈴鹿市 24－14 久居市
尾鷲市 36－8 亀山市
三重郡 28－11 津市
四日市市 33－12 員弁郡
▼準決勝
鈴鹿市 20－15 尾鷲市
四日市市 25－21 三重郡
▼決勝
鈴鹿市 24（8－6、16－9）15 四日市市

〈成年女子〉
▼1回戦
津市 キケン 亀山市
三重郡 18－3 鈴鹿市
▼準決勝
四日市市 16－4 津市
尾鷲市 11－10 三重郡
▼決勝
四日市市 16（8－4、8－6）10 尾鷲市

〈少年男子〉
▼1回戦
桑名市 32－20 尾鷲市
鳥羽市 21－15 上野市
▼2回戦
四日市市 31－15 桑名市
鈴鹿市 19－15 三重郡
津市 34－10 鳥羽市
亀山市 27－10 久居市
▼準決勝
四日市市 25－10 鈴鹿市
津市 14－8 亀山市
▼決勝
四日市市 27（14－5、13－7）12 津市

〈少年女子〉
▼1回戦
三重郡 16－14 尾鷲市
▼準決勝
四日市市 26－9 三重郡
津市 22－16 亀山市
▼決勝
四日市市 26（13－5、13－1）6 津市

三重県高校秋季選手権

（11月13、20、23日／ジャスコ体育館ほか）

〈男子〉
▼1回戦
四日市四郷 32－8 四日市中央工
桑名西 37－10 津西
津工 22－8 川越
名張西 16－14 海星
亀山 24－7 桑名工
▼2回戦
桑名 12－11 四日市四郷
四日市南 30－19 尾鷲
桑名北 25－9 上野工
桑名西 35－10 高田
四日市 26－5 津工
津 20－11 名張西
津東 28－17 四日市西
四日市工 20－14 亀山
▼3回戦
桑名西 25－21 桑名北
桑名 23－13 四日市南
四日市 20－15 津
四日市工 17－15 津東
▼準決勝
桑名西 23－12 桑名
四日市工 19－12 四日市
▼3位決定戦
四日市 26－13 桑名
▼決勝
四日市工 24（11－8、13－6）14 桑名西

〈女子〉
▼1回戦
暁 31－4 桑名
桑名西 20－8 津
川越 11－10 上野
名張西 29－18 四日市西
四日市南 22－7 松阪女
四日市 35－7 尾鷲
津東 19－18 亀山
四日市商 23－0 津西
▼2回戦
暁 34－7 桑名西
名張西 18－12 川越
四日市 14－5 四日市南
津東 22－10 四日市商
▼準決勝
暁 18－3 名張西
津東 13－12 四日市
▼3位決定戦
名張西 23－15 四日市
▼決勝
暁 32（15－5、17－6）11 津東

近畿

第41回奈良県高校総体

（9月18、23日／添上高）

〈男子〉
○Aゾーン
▼1回戦
添上 31－8 一条
▼2回戦
添上 16－8 橿原
片桐 12－11 畝傍
郡山 14－5 上牧
生駒 23－10 奈良工
▼準決勝
添上 27－5 片桐
生駒 17－15 郡山
▼決勝
添上 15（6－7、9－3）10 生駒

○Bゾーン
▼1回戦
天理 16－15 斑鳩
東大寺 10－7 高田東
広陵 19－12 富雄
正強 23－13 奈良
▼準決勝
東大寺 23－10 天理
正強 19－14 広陵
▼決勝
正強 24（9－5、15－8）13 東大寺

〈女子〉
○Aゾーン
▼1回戦
富雄 15－12 一条
▼準決勝
富雄 19－4 橿原
短大付 11－8 片桐
▼決勝

短大付 11（4－7、7－3）10 富雄

○Bゾーン

▼1回戦

添上 15－5 白藤

▼準決勝

郡山 19－7 十津川

添上 28－1 生駒

▼決勝

添上 25（12－1、13－1）2 郡山

和歌山県秋季選手権

（10月30、11月3日／岩出中学）

〈一般男子〉

▼1回戦

県和商高 13－12 耐久高

県和商7B 26－15 市和商高

新宮商高 15－12 桐蔭高

貴志川高 25－12 近大附高

粉河高 19－18 海南高

笠田高 16－7 御坊商工高

箕島高 29－12 紀北農芸高

▼2回戦

御坊ク 33－15 県和商高

桐蔭ク 37－7 和東高

和歌山大 21－16 県和商クB

那賀高 34－8 新宮商高

那賀ク 28－26 貴志川高

粉河高 23－19 金清ク

和歌山ク 27－19 笠田高

県和商クA 27－15 箕島高

▼3回戦

御坊ク 25－22 桐蔭ク

那賀高 23－19 和歌山大

那賀ク 30－25 粉河高

県和商クA 24－15 和歌山ク

▼準決勝

那賀高 24－19 御坊ク

那賀ク 22－17 県和商クA

▼決勝

那賀高 20（10－8、10－11）19 那賀ク

〈一般女子〉

▼1回戦

箕島高 9－8 県和商高

▼2回戦

粉河高 9－6 箕島高

笠田高 14－11 和歌山大

那賀高 20－9 御坊商工高

貴志川高 24－16 県和商ク

▼準決勝

笠田高 7－6 粉河高

那賀高 40－10 貴志川高

▼決勝

那賀高 26（13－3、13－4）7 笠田高

〈中学男子〉

▼1回戦

那賀 31－9 近大附

金屋 18－10 打田

湯浅 11－9 紀伊

▼2回戦

岩出第二 18－17 白馬

岩出 22－10 那賀

貴志川 24－3 金屋

湯浅 18－12 有功

▼準決勝

岩出 21－6 岩出第二

貴志川 30－6 湯浅

▼決勝

岩出 21（8－7、13－5）12 貴志川

〈中学女子〉

▼1回戦

岩出 28－6 那賀

岩出第二 18－4 粉河

貴志 川 18－9 金屋

桃山 27－11 打田

▼準決勝

岩出第二 15－10 岩出

桃山 15－11 貴志川

▼決勝

岩出第二 14（7－6、7－7）13 桃山

中国

鳥取県高校新人戦・1年生大会

（10月1、2日／倉吉工高）

●新人戦

〈男子〉

▼1回戦

米子東 16－5 倉吉工

▼準決勝

境工 21－9 米子東

境 19－13 米子北

▼決勝

境 11（7－4、4－4）8 境工

▼敗者復活・3位決定戦

倉吉工 17－15 米子北

米子東 19－9 倉吉工

〈女子〉

▼1回戦

境 16－7 米子南

米子北 17－14 米子西

倉吉産 31－6 倉吉西

米子東 31－11 倉吉東

▼準決勝

境 29－8 米子北

米子東 27－7 倉吉産

▼決勝

境 19（11－3、8－4）7 米子東

▼敗者復活・3位決定戦

米子南商 25－7 米子西

倉吉東 15－9 倉吉西

米子南商 24－4 倉吉産

米子北 18－7 倉吉東

米子南商 13－8 米子北

●1年生大会

〈男子〉

▼1回戦

倉吉工 8－8（2 PTC 1）米子東

▼準決勝

境 19－8 倉吉工

米子北 17－7 境工

▼決勝

米子北 11（8－4、3－6）10 境

〈女子〉

▼1回戦

米子西 13－12 米南・米北

▼決勝

倉吉産 13（8－2、5－5）7 米子西

第43回岡山県高校新人大会

（11月5、6、12日／津商業高校、総社高校）

〈男子〉

▼1回戦

総社南 15－10 関西

青陵 35－2 児島第一

玉野 14－5 倉敷工

▼2回戦

玉野光南 28－10 総社南

大安寺 25－7 高松農

操山 25－5 一宮

水島工 18－6 備前東

金川 18－8 津山

矢掛 18－4 和気

岡山工 16－7 天城

児島 18－4 古城池

東岡工 15－7 青陵

朝日 28－15 倉敷商

福渡 10－6 津山工

倉敷南 24－11 西大寺

吉備 22－8 落合

理大附 15－10 芳泉

邑久 15－11 高梁工

総社 28－12 玉野

▼3回戦

玉野光南 23－3 大安寺

水島工 24－12 操山

金川 12－11 矢掛

児島 11－10 岡山工

東岡工 21－14 朝日

倉敷南 23－9 福渡

吉備 15－7 理大附

総社 28－4 邑久

▼準々決勝

玉野光南 21－18 水島工

児島 22－10 金川

東岡工 20－14 倉敷南

総社 30－17 吉備

▼準決勝
玉野光南 21-18 児島
総社 23-9 東岡工
▼決勝
総社 23（11-6、12-10）16 玉野光南
※総社は2年連続6回目の優勝。
〈女子〉
▼1回戦
一宮 7-7 金川
1PTC0
津山 10-9 備前東
倉敷中央 25-4 矢掛
総社南 24-7 芳泉
倉敷南 42-1 津山東
朝日 9-4 津山商
古城池 12-0 真備
▼3回戦
西大寺 19-7 天城
児島 16-4 玉野
玉野光南 23-12 倉敷商
総社 21-10 操山
▼準決勝
西大寺 11-6 児島
玉野光南 20-9 総社
▼決勝
西大寺 11（5-6、6-4）10 玉野光南
※西大寺は3年ぶり2回目の優勝。
▼敗者復活1回戦
古城池 14-3 朝日
落合 11-8 一宮
倉敷商 10-2 津山
倉敷中央 13-6 総社南
▼敗者復活2回戦
古城池 15-11 落合
倉敷中央 6-6 倉敷商
1PTC0

秋季境港市民選手権

（11月3日／境港市民体育館）
〈男子〉
▼予選リーグ
○Aブロック
境工A 8-5 一中B
境高B 4-4 境工A
境高B 13-5 一中B
○Bブロック
境ク 20-4 米東高B
米子北 12-5 米東高B
境ク 23-8 米子北
○Cブロック
境工B 15-7 一中A
境高C 7-5 境工B
境高C 24-10 一中A
○Dブロック
境高A 9-3 米東高A
境高A 23-3 三中
米東高A 10-2 三中
▼決勝トーナメント1回戦
境ク 31-6 境高B
境高C 18-6 境高A
▼決勝
境ク 22（11-4、11-11）15 境高C
〈女子〉
▼予選リーグ
○Aブロック
二中男A 8-3 一中A
米東高 14-3 一中A
米東高 9-0 二中男A
○Bブロック
二中男B 5-3 一中B
米子北 16-7 一中B
二中男B 7-6 米子北
○Cブロック
境高 10-1 二中
二中男C 7-4 二中
境高 13-2 二中男C
▼決勝トーナメント1回戦
境高 22-2 二中男B
▼決勝
境高 13（7-5、6-2）7 米東高

山口県高校新人大会

（11月6、7日／徳山市体育館ほか）
〈男子〉
▼1回戦
下関一 27-7 華陵
防府西 15-13 田部
南陽工 11-10 野田学園
下関工 33-23 徳山工
徳山 17-7 宇部工
小野田工 24-13 防府商
山口 18-15 下関西
▼2回戦
下松工 41-2 下関一
高水 25-23 防府西
徳山商 25-15 西京
岩国 36-8 南陽工
下関中央工 34-12 下関工
下松 20-13 徳山
岩国工 23-6 小野田工
岩陽 32-16 山口
▼3回戦
下松工 31-13 高水
岩国 27-9 徳山商
下関中央工 29-17 下松
岩陽 25-10 岩国工
▼準決勝
下松工 24-8 岩国
下関中央工 21-13 岩陽
▼3位決定戦
岩陽 22-14 岩国
▼決勝
下関中央工 17（9-9、8-7）16 下松工
〈女子〉
▼1回戦
徳山商 40-5 山口中央
岩国 8-7 長府
高水 31-11 防府商
熊毛北 21-4 響
岩陽 27-5 徳山工
華陵 41-7 西京
徳山 31-6 防府西
岩国商 38-11 田部
▼2回戦
徳山商 30-11 岩国
熊毛北 28-6 高水
華陵 23-10 岩陽
岩国商 17-13 徳山
▼準決勝
熊毛北 21-6 徳山商
華陵 21-8 岩国商
▼3位決定戦
徳山商 17-7 岩国商
▼決勝
熊毛北 21（7-7、8-8、2-1、4-2）18 華陵

山陰選抜選手権大会

（11月20日／鳥取・境高体育館）

▼一般男子決勝
境港ク 34（22－10、12－17）27 くにびきク

▼一般女子決勝
境港ク 24（12－3、12－4）7 松江女高ク

▼高校男子決勝
飯南 17（9－5、8－9）14 境

▼高校女子決勝
境 28（17－4、11－6）10 江津

▼中学男子
境一 18（7－2、11－7）9 境三

▼中学女子決勝
境三 12（6－6、6－3）9 境二

九州

鹿児島県民体育大会

（10月1、2日／鹿児島工高）

〈男子〉

▼1回戦
姶良 23－16 出水

▼2回戦
姶良 40－23 川辺
大島 40－23 鹿児島
揖宿 31－6 川薩
曽於 27－12 熊毛

▼準決勝
姶良 36－27 大島
曽於 19－16 揖宿

▼決勝
姶良 44（24－6、20－13）19 曽於

〈女子〉

▼1回戦
曽於 23－5 出水
鹿児島 40－2 川辺
姶良 33－0 川薩
大島 22－10 日置

▼準決勝
鹿児島 25－3 曽於
姶良 22－9 大島

▼決勝
姶良 24（11－9、13－4）13 鹿児島

第40回長崎県民体育大会

（11月6日／島原農高）

〈成年男子〉

▼1回戦
佐世保 32－27 大村
長崎 42－24 諫早

▼決勝
佐世保 33（15－14、18－11）25 長崎

〈成年女子〉

▼1回戦
諫早 24－11 島原
佐世保 25－5 長崎

▼決勝
佐世保 18（10－9、8－7）16 諫早

第24回宮崎県高校新人大会

（11月8～10日／宮崎県体育館、宮崎市総合体育館）

〈男子〉

▼予選リーグ

○Aパート
宮崎工 17－14 宮崎北
日南 10－9 都城商
宮崎工 36－8 日南
宮崎北 17－8 都城商

○Bパート
宮崎西 35－18 日南工
都城工 19－12 小林
宮崎西 18－12 都城工
小林 24－13 日南工

○Cパート
宮崎第一 34－5 延岡
宮崎第一 46－4 日向工
延岡 21－10 日向工

○Dパート
泉ヶ岡 16－7 都城西
泉ヶ岡 23－12 宮崎南
都城西 26－11 宮崎南

○Eパート
小林工 43－7 妻
小林工 46－6 中央
妻 23－18 中央

▼準決勝リーグ

○Aパート
宮崎工 23－12 小林
宮崎工 36－14 妻
小林 21－17 妻

○Bパート
宮崎西 20－18 都城西
宮崎西 29－20 宮崎北
都城西 28－20 宮崎北

○Cパート
宮崎第一 25－12 都城工
宮崎第一 53－11 日南
都城工 52－12 日南

○Dパート
小林工 24－23 泉ヶ岡
小林工 40－12 延岡
泉ヶ岡 42－6 延岡

▼準決勝
小林工 21－16 宮崎工
宮崎西 23－22 宮崎第一

▼決勝
宮崎西 30（12－9、18－14）23 小林工

〈女子〉

▼予選リーグ

○イパート
本庄 33－1 宮崎女
本庄 52－1 西都商
宮崎女 15－12 西都商

○ロパート
小林商 37－5 都城西
小林商 23－2 延岡
延岡 29－2 中央
都城西 11－6 中央

○ハパート
泉ヶ丘 19－16 小林
泉ヶ丘 36－4 振徳
小林 18－7 妻
妻 20－10 振徳

○ニパート
宮崎商 26－16 宮崎南
宮崎商 13－12 延岡商
宮崎西 14－12 延岡商
宮崎西 17－9 宮崎南

▼準決勝リーグ

○イパート
本庄 32－5 小林
本庄 30－2 延岡
宮崎商 24－15 小林
宮崎商 22－11 延岡

○ロパート
小林商 26－15 宮崎西
小林商 40－4 宮崎女
宮崎西 24－16 泉ヶ丘
泉ヶ丘 44－9 宮崎女

▼準決勝
本庄 39－8 宮崎西
小林商 21－15 宮崎商

▼決勝
本庄 17（11－6、6－7）13 小林商

第6回鹿児島県小学生大会

（11月13日／鹿児島附属中）

▼予選A組
寿A 19－4 坂元B
坂元A 6－2 寿B
坂元A 8－6 寿A
坂元B 4－4 寿B

▼予選B組
寿C 13－0 坂元C
大泊 19－3 寿D
大泊 15－2 寿C
寿D 13－3 坂元C

▼準決勝
坂元A 8－0 寿C
寿A 8－8 大泊（1 PTC 0）

▼3位決定戦
大泊 24－4 寿C

▼決勝
寿A 11－5 坂元A

5人以上のグループでこの保険に加入できます。

保険料（年額1人あたり）

- ■スポーツ少年団、子ども会など中学生以下の子どものグループ　**350円**
- ■文化活動、奉仕活動のグループおよび老人のグループ（ゲートボールなど）　**600円**
- ■ママさんバレーなどの地域スポーツグループ、高校の運動部および大学・会社などのスポーツ同好会など　**1,050円**

注：ほかに学生連盟、実業団連盟に所属する団体の加入も扱っています。

補償の内容

傷害保険	死亡・後遺障害 入院（1日につき） 通院（1日につき）	最高　1,200万円 3,800円 1,200円
賠償責任保険	支払限度額	対人　5,000万円 対物　100万円

対象となる事故

■グループ活動中の事故　■往復途上の事故

保険期間

平成元年4月1日より翌年3月31日まで（申込受付は3月から）

加入申し込み、資料の請求、お問合わせ

スポーツ安全協会各都道府県支部（主として教育委員会保健体育課および体育協会）、もよりの東京海上火災保険㈱の営業店にご照会ください。

(財)スポーツ安全協会

東京都渋谷区神南1-1-1岸記念体育会館　TEL(03)481-2431（代表）

未来をみつめる健康テクノ
asics
走る、跳ぶ、投げる。
制空権を得るためのスカイハンド®。
より高い跳躍と より長い滞空時間。
よりコンパクトなテイクバックとスピーディなスローイング。
ここに至るには 地道な長い練習の日々と、
勝負に臨んでの集中力と爆発力が必要である。
この日のために努力を重ねてきた選手たちに——。
バイオメカニクスで育てられたウェアとシューズ。
アシックスよりおくります。
SKYHAND®
ASICS Handball Wear
asics® TIGER®
ASICS Handball Shoes
株式会社アシックス
●商品についてのお問い合わせは株式会社アシックス消費者相談室までどうぞ。〒650 神戸市中央区港島中町7丁目1番1 TEL(078)303-2233(専用)・(078)303-3333(大代表)
〒130 東京都墨田区錦糸4丁目10番11号 TEL(03)624-1814(専用) ■印は㈱アシックスの登録商標です。

（財）日本ハンドボール協会編
『ハンドボール』
第二八三号
昭和四十年六月 日 第三種郵便物認可
平成一年二月二十五日 印刷
平成一年三月一日 発行
東京都渋谷 一一一一
電話 代表 二三六一
振替 東京 六ー五八三四八番
編集兼発行人 安藤純光
定価三百五十円（年間購読料三千三百円）